

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市泉ひまわりの家
2	指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）
4	施設の利用状況	《利用者数》 ・平成30年度 4,301人（前年度比 94.0%） ・平成29年度 4,577人（前年度比 101.3%） ・平成28年度 4,520人（前年度比 103.0%）
		《事業》 主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援を行うことで、福祉の増進を図る。
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 59,367千円 (58,527千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 43千円 (547千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 61,052千円 (64,402千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケートを平成31年1月に市と施設運営法人でそれぞれ実施、施設外部の委員を含む施設運営委員会を年2回実施、保護者会に年6回参加、施設運営法人と保護者の懇談会を年1回実施。

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。 また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	42/42
II	施設の運営管理体制	法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も実施している。	24/24
III	施設・設備の維持管理	老朽化が進んでいる施設ではあるが、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃を丁寧に行い、清潔に保たれている。 また、積極的に節電・節水を行うなど、省エネ対策が実行されており、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV	サービスの質の向上	職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に積極的に取り組んでいる。 また、施設運営法人と保護者との懇談会等を定期的に関し、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。 利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。	28/28
V	施設固有の基準	指定管理施設としての基準を遵守しながら、医療的ケアを必要とする利用者の障害特性の細部までの把握に努め、処遇向上を図っている。 利用者本位の支援に努めつつ、サービスの質の向上を目的とした取組みも行っている。	8/8

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>利用者の個性やニーズに応じた支援を行うとともに、人材育成という課題に重きを置き、OJTを基本としながら、職員の資質及び専門性の向上に努め、先進事業所の視察及び実地研修等にも参加し、伝達研修により共有した。</p> <p>医療的ケアを必要とする利用者が年々増えており、質の高いサービス提供が求められているため、家族・地域・関係諸機関との連携を図り、支援内容の充実や施設的环境整備に取り組んだ。</p> <p>《重点事業のまとめ》</p> <ol style="list-style-type: none"> 個別支援計画に基づくサービスの提供とサービスの質の向上 個別支援計画に基づき、個々の適正に応じたサービス提供を行うとともに、近隣の清掃活動や近隣小学校との交流、ボランティア団体などの地域住民との交流を積極的に行い、地域に根差した活動を行った。 利用者の課題に合わせた日中活動(個別・グループ)の充実 障害特性を考慮したグループ活動(班)が定着してきたことより、グループごとの活動内容を充実させることができた。特に、外出機会の増加により、利用者の活動意欲が増し、情緒の安定にも繋がった。 医療的ケアが必要な利用者の支援体制の充実 医療的ケアを必要とする利用者が増加していることから、医療機関との連携強化を図るとともに、各利用者の支援内容の見直しを行った。また、医療依存度の高い利用者対しての支援を目的とした研修会に参加し、看護師等による伝達研修を実施することで職員間の情報共有及び職員の資質向上を図った。 施設運営委員会の開設(年2回) 運営委員から日中活動についての意見や、他の障害者施設等の情報提供をいただくなど、施設について充実した議論を行うことができ、それらを施設運営に反映させた。 また、昨年度から実施している本会の障害者施設間の連携と資質向上を目的とした研修会も年2回実施し、各施設の職員間の連携や情報共有、資質向上につなげることができた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に従っておおむね適切、良好に行われた。</p> <p>利用者や家族のニーズに応じた支援を行うとともに、医療的ケアを必要とするなどの質の高いサービスに応えられるよう、人材育成に力を入れているほか、看護師や他施設の理学療法士の協力による支援を実施し、利用者の状態に合わせたサービス提供が行われている。</p> <p>支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会も実施しており、地元小学校や地域との積極的な交流により福祉施設や障害のある方への理解促進にも努めるなど、総合的には高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課